

歴史と街道を巡る

第146回史跡シリーズは「切支丹の多かった四條畷市・キリシタンとのゆかりを探る」と題して6月1日(木)イオン四條畷バス停前に集合し開催されました。当日は37名の多くの参加者(内:初参加2名)が、前夜の強い風雨後の蒸し暑い気温にも負けず、行程5.2Kmを途中での帰宅者を除いて完歩しました。

今回のコースはバス停から東へ忍陵神社を經由して小楠公墓所に南下して行きました。散策コースは、砂遺跡から光圓寺・妙法寺の名刹を見学後、無縁堂の供養婆でキリスト教徒の歴史と迫害の実態を解説の宮永さんより、丁寧な説明がありました。次は大正寺・岡山行者堂から忍岡古墳・忍陵神社に行き、集合写真を撮り昼食を境内で済ませました。

小休憩後、正法寺に到着後、境内に入り「寺の歴史

を語ることは四條畷史を語るに等しい」と郷土史家の見解を知る事ができました。その後、清滝川に沿った遺跡や地蔵尊等を巡り法念寺に立ち寄りしました。

最終の見学地・小楠公墓所は、楠木正成の長子・正行が戦死の地として石碑が建立されました。大木が目前で輝いて、その前で集合写真を撮り感動しました。解散前には「ちょこつと募金」の協力頂き感謝いたします。



【忍陵神社にて】



【小楠公墓所にて】

五十にして天命を知る

5班 樋口 友視さん

夢
中
人
の
ご
紹
介

日本古武道誠慧塾(かいけいじゅく)を主宰されておられる樋口友視さんをご紹介します。お若い時には、オール松下の剣道部で活躍されておられ、現役50歳のとき、ご自身の廻りでの不幸を契機に、自分を見つめ直すために、始められたそうです。

八坂神社の宮司をされておられた無双直伝英信流 範士十段 三浦武之秀房 総師範に師事し、十数年来の稽古の後、誠慧塾を設立されました。塾名には、自己の行いを誠(いまし)め、心を直す鍛錬を積み、生き抜く智慧(ちえ)を得る、という意味があるそうです。



【昇段試験での樋口さん】

古武道は、剣道・柔道・空手などの現代武道と異なり、勝敗を決する試合はありません。伝統と礼節を重んじ、心技共に向上することを目指した武芸で、相手の動きを仮想しての「型」稽古です。

誠慧塾では、「居合」を中心に「杖術」「組み太刀」の修行に励んでおられ、現在、樋口さんは錬士六段です。誠慧塾では、毎週日曜日午前9時~12時、寝屋川市立総合センター内の中央公民館の軽スポーツ室(3F)で稽古をされています。初めての人でも気軽に始められるとのことですので、武士(もののふ)に関心のある方、是非とも見学に行ってください。また、中央公民館のホームページにもサークル活動が掲載されていますので、ご覧ください。

加えて、樋口さんは、書道の実用賞状書士の資格もお持ちですので、ご要望ある方、お声掛けください。

(題字はご本人自書)



【塾の皆さんの稽古風景です】

同好会のご紹介

■ 元気サークル

太極拳元気サークルは来年、発足から20周年となります。現在の会員数は男性16名女性26名計42名と年々地域の皆様の会員が増加傾向にあり、自己の健康増進と仲間のコミュニケーションを積極的に図り、毎週2回(水・土曜日)の午前10時~11時45分迄保健福祉センター 5F「多目的室」を借用し演武の練習に汗を流して楽しんでいます。また会員相互の親睦をより深めるため年3回の親睦行事を実施しています。皆様のさらなるご参加をお待ちしています。



■ 映像同好会

映像同好会では、今年3月11日、松心会館で2年ぶりのビデオ作品発表会を行いました。地元の映像団体である寝屋川市映像協会にも参加して寝屋川市民文化祭や寝屋川映像フェスティバル、大阪アマチュア映像祭などで力作を発表できる機会も多く、撮影会や研究会、そして毎月の例会で技術・表現力を磨き知識を高めて見る人の心を捉える映像作りを学ぶとともに、新年食事会・レクリエーションや忘年会などで会員同士の親睦を深めています。

